

# 3 フリーの2D CADソフトJw\_cadを使ってみよう

杉浦富夫 (杉浦機械設計事務所代表、CAD 利用技術者試験 1 級インストラクタ)

## Jw\_cadとは

Jw\_cad の歴史は古く、1991 年に jw\_software\_club (清水治郎氏、田中善文氏、岡野輔仁氏) により開発され、NIFTY の建築フォーラム<sup>注1)</sup> で公開された 2 次元汎用 CAD である。今日まで進化を重ね続けており、多くのユーザーに支持されているスーパー級の CAD フリーソフトウェアである。現在は Windows95、98、Me/NT、2000、XP、Vista に対応し、JWW とも呼ばれ、最新バージョンは V6.21a である。なお、Jw\_cad の存在は、AutoCAD や MICRO CADAM Helix 等メジャーな市販 2 次元 CAD の価格、バージョンアップや保守料金のあり方、果てや<sup>すうせい</sup>趨勢などに少なからず影響を与えた。

Jw\_cad は建築系専用の 2 次元 CAD と思われがちだ。開発者にプロの建築士がおり、建築系に特化した機能が見られ、ユーザーなどによりネットで公開されているフリーのデータ等も建築系が圧倒的に多い。しかし Jw\_cad は DXF 形式の図形データの読み込みや、書き出しが可能で、機械系の CAD としても問題なく使用できる。利用者からは市販 CAD よりも軽く、使い勝手がよいなどの高い評価を受けている。現在では大学や工専、工業高校などでも Jw\_cad を CAD 機械、機械、電気製図の授業に組み込んでいるケースが多く見られる。また、1992 年から日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会 (現・社団法人コンピュータソフトウェア協会) により実施されている CAD インストラクタの資格である、CAD 利用技術者試験<sup>注2)</sup> は当初 MIRO CADAM や AutoCAD での受験者が多かったが、Jw\_cad での受験者も増えていると聞く。

## Jw\_cadのインストールと起動画面

筆者はプロの機械系の設計技士であるので、普段フリーソフトの CAD を使用することはほとんどないが、高い評価を得ている Jw\_cad だけに興味深い。

最新バージョンは 2009 年 5 月 6 日



図1 Jw\_cadの公式ホームページ

注1) 発表当時、PCのCPUはIntelの80386、OSはMS-DOSの時代。一般向けの商用インターネット接続はまだ始まっておらず、PC等の情報交換はNIFTYなどのBBSにモデムを使い電話回線経由で接続していた頃だ。

注2) ちなみに筆者は第1回試験をMICRO CADAMで受験し1級に合格した。

に公開された Version 6.21a である。Jw\_cad の公式 HP である [Welcome to Jww Home Page] (<http://www.jwcad.net/>) からダウンロードできる (図1)。

Jw\_cad のインストールは簡単だ。インストーラーである jww621a.exe をクリックするだけで、インストールが始まる。インストールが終われば特に再起動も必要ないので、早速 Jw\_cad を起動してみよう。図2は起動後の操作画面である。

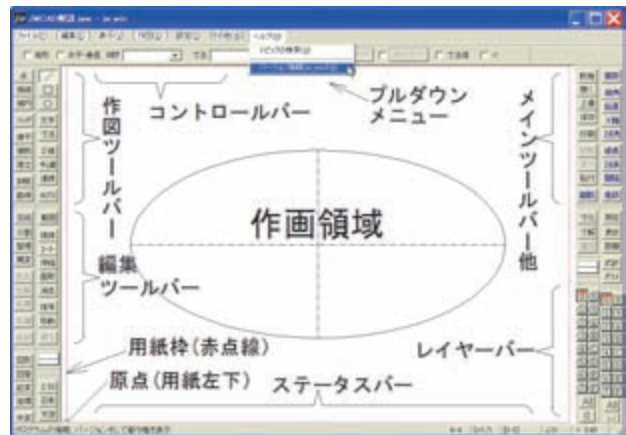


図2 Jw\_cadのデフォルトの起動画面。操作に慣れるまでツールバーの配置などはあまりカスタマイズをしない。

図2は Jw\_cad 各機能を解説するため、Jw\_cad の作画機能を使い、各機能の名称などを筆者の操作で直接書き込んだものだ。

操作画面には Windows ソフトに一般的なプルダウンメニューが用意され、それらのみでも大体の操作が行える。またデフォルトでウインドウの左右にはツールバーが配置されている。これは、プルダウンメニュー内のコマンドボタンを並べたもので、カスタマイズが可能となっている。下部にはステータスバーがあり、ステータスバーの左側には随時次の操作方法などを知らせてくれるメッセージエリア (筆者が命名) がある。ツールバーはやや多めとの印象を受けるほどの数が配置されている。不要なバーを非表示にするなど、カスタマイズは可能だ。ただ、熟練者や掲示板で操作に関する質問をすることなども考慮し、慣れるまでの間はなるべくデフォルトに近い状態で習得することをすすめたい。

## ウインドウ操作の習得

2次元のみならず、3次元も含め、CADによる設計・製図作業は、解像度の限られたパソコンの画面に図面を表示しな